

令和6年度 第1回 朝日地域振興懇談会

日 時 令和6年9月24日（火）

午後6時30分開会

場 所 朝日中央コミュニティセンター
大集会室

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

（1）令和6年7月25日・26日の大雨災害について

資料1

（2）令和5年度第4回朝日地域振興懇談会での質問事項への対応について

資料2

4. 懇 談

（1）朝日地域重点施策及び地域まちづくり未来事業について

資料3～資料6

（2）庄内交通バス路線の見直しに伴う公共交通再編について

資料7

（3）その他

5. そ の 他

6. 閉 会

資料1

令和6年7月25日・26日の大雨災害による被災状況（朝日地域管内）

施設区分		被害 件数	被害額 (単位:千円)	復旧済 件数	着手済 件数	未着手	備考
市道	市道（南部地区）	3	2,950	1	2	0	下田沢大平線（山地排水による法面崩れ）他
	市道（中部地区）	10	7,650	10	0	0	八久和線（山地排水による土砂流出）他
	市道（東部地区）	7	25,100	6	0	1	屋敷田線（山地排水による路肩欠損）他 未着手 1件
	市道 計	20	35,700	17	2	1	
河川	普通河川（南部地区）	1	1,200	1	0	0	松ノ沢（異常出水による土砂流出）
	普通河川（東部地区）	1	1,100	1	0	0	関谷川（異常出水による護岸等の洗掘）
	市管理河川 計	2	2,300	2	0	0	
農地農業用施設	農地農業用施設（南部地区）	9	4,500	2	7	0	大平集落農道被害他 自力復旧1件
	農地農業用施設（中部地区）	17	11,300	0	14	3	上本郷集落農道被害他
	農地農業用施設（東部地区）	4	2,600	0	4	0	田麦俣集落農道被害他
	農地農業用施設 計	30	18,400	2	25	3	
林道	林道（南部地区）	14	8,000	1	13	0	花戸線他
	林道（中部地区）	19	64,900	0	14	5	十石線他
	林道（東部地区）	8	6,800	0	8	0	鶴ノ里線他
	林道 計	41	79,700	1	35	5	
観光施設 （湯殿山スキー場）		1	30,000		1		ゲレンデ崩落 9月19日入札
合 計		94	166,100	22	63	9	

令和6年7月25日・26日の大雨災害による被災状況（位置図）



令和 5 年度第 4 回朝日地域振興懇談会での質問事項への対応について

●委員（質問）

集落支援員の支援を受けたい。これまでの支援員の取組を教えてください。

■朝日庁舎総務企画課回答

朝日地域では平成 23 年度から集落支援員を配置し、地域の将来像となる計画づくりに対して助言や指導を行ってきました。今年度も朝日地域在住の支援員を配置しています。

令和 6 年度は全集落の現状と課題を把握し、それらをまとめた集落カルテを作成するために自治会長全員からの聞き取りを行っています。これまで 38 集落中、27 集落が終了し、10 月中には全集落の聞き取りを終える予定です。

集落が抱える世帯減少や高齢化の課題、集落林や公民館、農道や水路などの共有資産の将来的な管理の不安に対する解決策の相談等、他集落の参考事例も紹介しながら集落の皆さんと一緒に考えています。

また、今年度は大泉地域ビジョンの推進にも関わっており、農林産物の活用や特産物開発に向けた支援を行っていますので、ぜひ、集落での課題解決に向けて支援制度を活用いただきたい。

●委員（質問）

朝日地域には高齢者が多くデジタル技術の活用が通用するのか心配である。今後は高齢者も含めてデジタルの活用に向けた支援、デジタル技術を使える人材の育成が必要と考えるが、どのような取組を行っていくのか。

■朝日庁舎総務企画課回答

現在の朝日地域のデジタル化の取組の事例として、大網診療所、南出張所と庁舎とをオンラインで結んでおり、庁舎に来なくても庁舎職員とパソコンの画面を通じて、対面での会話をしながら行政手続きができるシステムを導入しています。

高齢者の方々にはデジタル技術に抵抗を感じている方も多いと思いますが、書類を書かなくても良かったり、庁舎まで来なくてもいいなど、多くのメリットもあります。

市では地域まちづくり未来事業で、コミセンと地域の若者が開催している高齢者向けのスマートフォン操作や電子マネーの使い方教室への支援のほか、将来のデジタル人材となる中高生向けの講習会の開催支援も行っています。各集落に出向く出張スマホ教室は今年度も秋以降に実施しますので、ぜひご参加ください。

●委員（質問）

結婚により地域外に転居しても消防団員といった実情があり、常時住んでいる消防団員は1～2名と少なく、有事の際は初期対応を自主防災組織で対応していく必要があると考えている。自主防災組織の強化は各集落に任せられているが、行政も地域での避難訓練実施の呼びかけなどを進めてもらいたい。

また、自主防災組織への用具や物資の充実に向けて、どのように進めていくのか。

■朝日庁舎総務企画課回答

災害時の被害は、地域で定期的に避難訓練を実施しているか、していないかで大きく違ってくる傾向があるため、地域の防災訓練を日ごろから行うことが重要となっています。

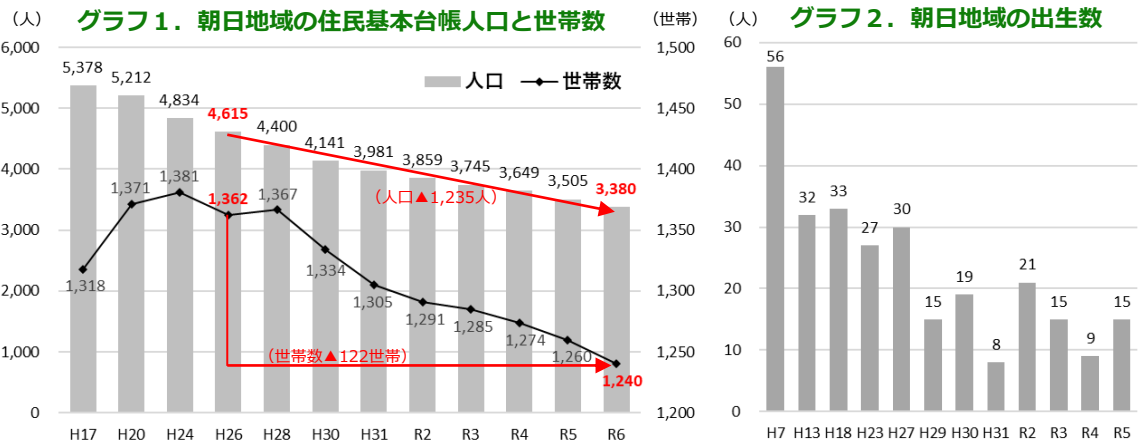
市は、地域での防災意識を高めるための取組として、防災講演会や防災アドバイザーの派遣事業などを行っています。また、朝日地域の取組として、朝日地域防災訓練や朝日中央地区自治振興会から管内自主防災会へ、一斉防災訓練に取り組むよう声掛けをしました。参加意向があった9組織が防災訓練を実施しましたが、更なる拡大が求められます。このような取組を継続して行い、防災意識の醸成を図っていきます。

自主防災組織の用具や物資の確保については、コミュニティ助成事業が活用できますのでご相談ください。また、朝日地域では、有事の際に避難所に配布できるダンボールベッドや発電機などを旧朝日青少年センターや朝日庁舎などに配置しています。

現 状

1. 過疎化・少子高齢化による人口減少

- ◆10年間（H26→R6）で人口は1,235人減少、世帯数は122世帯減少…グラフ1
- ◆令和5年の出生数15人…グラフ2 →若者世代の減少により地域活力が低下



- ◆生産年齢人口の減少が深刻で共同作業の担い手不足
- ◆10年間で高齢化率が12.4ポイント上昇…表
→集落機能の維持が困難

- ◆農林業従事者の高齢化と後継者不足
→山林・農地の荒廃の心配、鳥獣被害の増加

2. 豪雪地帯という厳しい定住環境

- ◆高齢化が進行し屋根の雪下ろし作業や家屋の維持管理が困難
- ◆豪雪を要因とする転出者が増加

表. 朝日地域の年齢3区分別人口・構成比

区分	平成26年3月末現在		令和6年3月末現在	
	人口	構成比	人口	構成比
0～14歳（年少人口）	444	9.6%	255	7.5%
15～64歳（生産年齢人口）	2,533	54.9%	1,505	44.5%
65歳以上（老年人口）	1,638	35.5%	1,620	47.9%
計	4,615	100.0%	3,380	100.0%

課 題

- 地域や農・林・観光業を支える人材育成が急務
- 定住のための生活環境整備や地域・団体・行政との協働により地域を支える仕組みづくりが必要
- 地域の“強み”をさらに活かした産業振興が必要

【取組方針】中山間地域の暮らしを守り、支える取組を推進

暮らしを守る
〈定住対策〉

暮らしを支える
〈産業振興〉

- 中山間地域における定住環境の支援
- 森林資源、自然環境等を活用し、中山間地に特化した農林業の振興
- 自然、文化、風土等、地域資源を活用した観光の振興

主な重点施策

- ・朝日庁舎・消防朝日分署の整備
- ・湯殿山スキー場（R天国）の施設整備及び情報発信強化

令和6年度 地域まちづくり未来事業

暮らしを守る
〈定住対策〉

暮らしを支える
〈産業振興〉

- ◎新規・拡充
- 1 次世代へつなげる活力を育む地域コミュニティづくりの支援
・朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト
- 2 地域の実情や需要に応じた地域内交通の確保
◎朝日地域地域内交通調査研究事業
◎朝日地域大鳥地区移動支援モデル事業
- 3 豪雪地帯における克雪対策への支援
・朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業
◎朝日地域安全・安心な除排雪支援事業
- 4 地域で支え合う福祉支援体制の充実
◎かたくり温泉運営支援事業
◎朝日地域フレイル予防事業
◎かたくり温泉ぼんぼ施設修繕
- 5 森林資源と自然環境を活用した自然環境教育の実践
・大鳥自然の家環境教育推進事業
- 6 中山間地域の課題解決に向けたデジタル技術の活用
・朝日地域共創プロジェクト支援事業

- 1 中山間地域における持続可能な農業経営への支援
・朝日地域若者農業者支援事業
- 2 農地・山林保全による農林業生産活動と農村集落機能維持
◎朝日地域山の恵み産地化事業
- 3 観光団体等との連携による地域資源活用の推進
・朝日地域観光あいのりタクシー運行事業
・桧原二ノ俣峠越山道復元事業
◎六十里越街道魅力発信事業

資料4 朝日庁舎・消防朝日分署の整備状況

令和6年9月24日
朝日地域振興懇談会
庁舎整備対策室

■令和6年9月9日現在



庁舎棟：鶴岡産木材を使った木造
消防棟：鉄筋コンクリート造

※工事の進捗状況は市ホームページで公開してます。

■利用開始
令和7年度第1四半期を予定



施設 の 特徴

- ①庁舎と消防分署を合築した2階建て
- ②太陽光発電（ソーラーパネル）、自家発電設備及び蓄電池を設置
- ③木質チップを燃料とするボイラーを使った熱エネルギーを1階床暖房や融雪に活用
- ④「ZEB Ready(ゼブ レディ)」基準に適合する省エネに対応した断熱材・サッシ・空調等を整備
- ⑤デジタル技術を活用した「書かない窓口」を提供
- ⑥バス待合や勉強等に利用できる「多目的スペース」を庁舎1階に配置

(完成イメージ)

1階 多目的スペース完成予想図

(実施設計より)

【面積】

81.15m²(12.74m×6.37m)

【利用や設置設備(予定)】

- ・バス待合室
- ・学習や仕事、打ち合わせ等ができる空間
- ・大型モニター、ATM、自動販売機等

【利用時間(予定)】

平日: 6時30分～20時
土日祝: 8時30分～20時
※バス運行時間に配慮

【多目的スペースの活用アイデアを募集】

※朝日地域内の6施設に募集箱を設置しました。

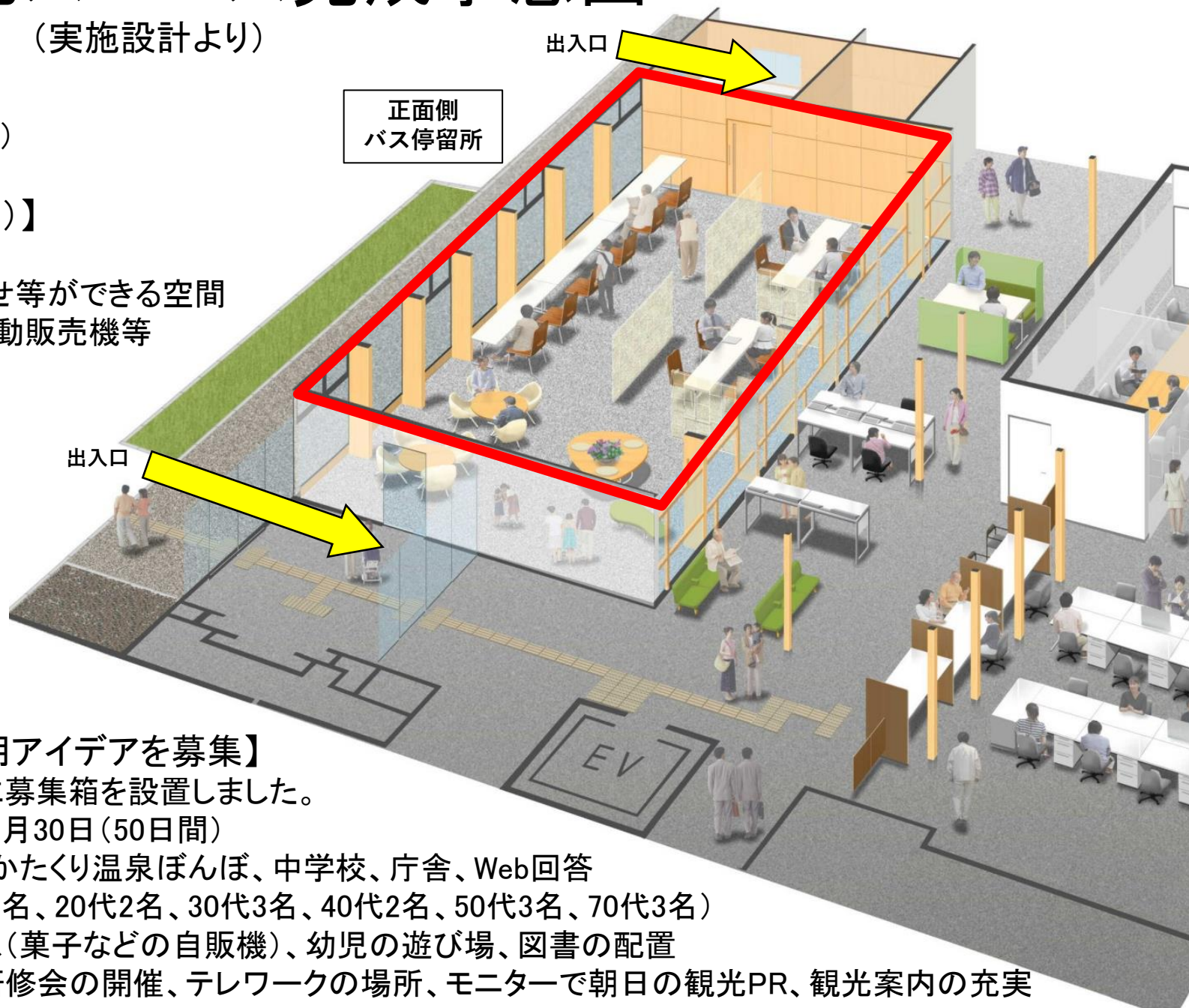
○募集期間: 7月12日～8月30日(50日間)

○設置場所: 3コミセン、かたくり温泉ぼんぼ、中学校、庁舎、Web回答

○応募実績: 19名(10代6名、20代2名、30代3名、40代2名、50代3名、70代3名)

○活用例: カフェスペース(菓子などの自販機)、幼児の遊び場、図書の配置

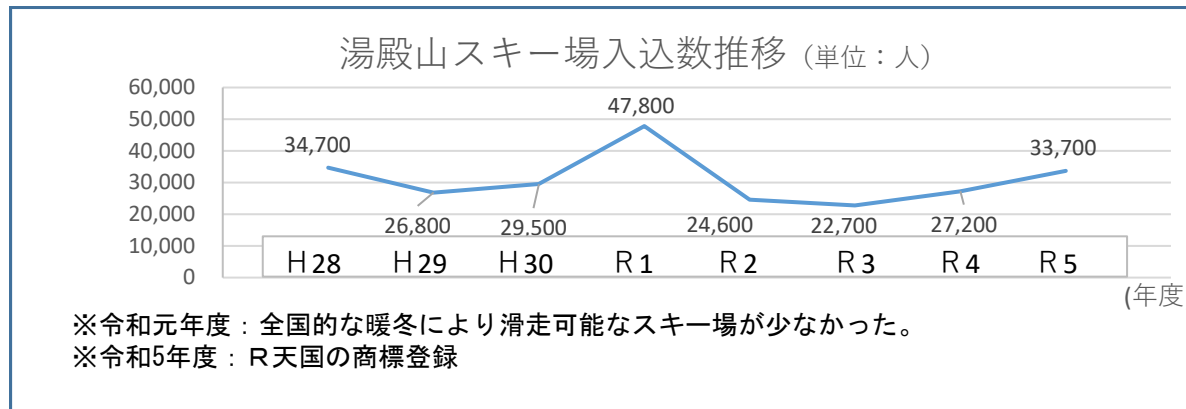
体験学習や研修会の開催、テレワークの場所、モニターで朝日の観光PR、観光案内の充実



特色あるコース「R天国」のスキー場として注目されている湯殿山スキー場の魅力を更に高め、冬の観光資源として誘客につなげる取組を進めます。

<現状>

- 湯殿山スキー場は、月山あさひ振興公社が、利用料金制による指定管理を行っている。
- 第2ロマンスリフトを令和4年度にリニューアルしたことや、滑走コース内に大小さまざまな壁や平面カーブを設置し特色あるコースづくりにより、全国のスノーボーダー、スキーヤーから「R天国」のスキー場として注目されており、利用客の約4割が県外客となっている。
- 自然エネルギー（太陽光等）を活用した可動式リフト（ロープトロー）の実証実験を行うなど、SDGsの取組を模索している。



【令和6年度 市の取組】

《取組強化》

- ・魅力を伝える映像制作

《施設整備》

- ・圧雪車の更新
- ・駐車場の舗装

【令和6年度 湯殿山スキー場の取組】

《取組強化》

- ・ツイッター、インスタグラム等のSNSを活用したイベント情報発信
- ・インバウンド対策（多言語による案内表示）
- ・人員確保



令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業の取組状況について

No	事業名	事業内容	予算額 (千円)	事業期間
1. 中山間地域における定住環境の支援				
1	若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業	若者が集い語らい、交流活動を通して行う地域・人づくりを支援	228	R3～
2	地域内交通調査研究事業	地域の意向を反映し、需要に合った地域内生活交通のあり方の調査と研究会・研修会の開催を支援	1,900	R5～
3	大鳥地区移動支援モデル事業【新規】	大鳥地区の住民向けに試験的に実施する移動支援事業を支援	310	R6～
4	地域共創プロジェクト支援事業	自治振興会が取組むデジタル人材育成事業、地域住民を対象にしたスマホ教室実施を支援	300	R5～
5	助け合い玄関前除雪支援事業	広域コミュニティ組織が行う高齢者世帯等の玄関前除雪事業への支援	330	R1～
6	安全・安心な除排雪支援事業【新規】	除排雪作業時の安全対策講習や地域共助による除雪体制の仕組みづくりに向けた研修会を開催	150	R6～
7	大鳥自然の家環境教育推進事業	大鳥地区の自然環境を活用した環境教育プログラムの開発	380	R1～
8	かたくり温泉運営支援事業【新規】	温泉利活用による地域住民の健康増進とコミュニティ活動の充実を図り、暮らしやすい地域づくりを推進するため、温泉運営を支援	10,500	R6～
9	朝日地域フレイル予防事業【新規】	地域住民同士が支えあい、健康長寿の延伸とフレイル予防推進のため、従来の対象年齢を50代まで引き下げ、介護予防事業実施を支援	2,000	R6～
10	かたくり温泉ぼんぼ施設修繕【新規】	健康寿命延伸と暮らしやすい地域づくりを目指すため、老朽化した温泉施設設備を修繕	2,620	R6～
2. 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興				
11	若者農業者支援事業	若者農業者の交流を支援し、農業、農村を支える人材を育成	350	R4～
12	山の恵み産地化事業	団体が行う販売目的の特産品収穫出荷等への支援。特産品の創出、生産拡大・維持の取組み、地域特産物の収穫イベント開催への支援	1,600	R1～
3. 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興				
13	観光あいりのりタクシー運行事業	登山・観光シーズン中の二次交通確保の取組	910	R5～
14	六十里越街道魅力発信事業	地域の若者を対象にした古道歩きイベント・SNS講習会開催への支援	220	R4～
15	桧原二ノ俣峠越山道復元事業	登山道利用を目指し、関係団体へ刈払い、看板設置等への支援	100	R4～
			21,898	

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	若者語らいの場ありのままプロジェクト支援事業
事業目的	地域課題解決に向けて主体的に取り組む若者組織の育成を支援する。
事業概要	令和3年度に立ち上がった「チームWaGeSho(わけしょ=若い人)」が行う、若者が集い語らい、地域内外との交流活動を通じてネットワーク拡大を目指す地域・人づくりを支援する。
令和6年度予算額	228,000円
事業実施年度	令和3年度 ～
これまでの主な事業実績	東北公益文科大学の武田真理子教授を講師に迎え、チーム会議や自治振興会との合同会議や勉強会の開催 (令和5年度の主な事業実績) ・チーム会議 令和5年5月、6月、9月、令和6年3月 ・朝日中学校地域語り合い 令和5年11月
令和6年度の事業内容	
★令和6年4月時点 WaGeSho会員数:16人 ★実施した自主企画事業 ①大鳥池登山(7月) チームWaGeShoメンバー含め計10人で朝日地域の豊かな自然を体験 ②笹の葉とりボランティア(8月) チームWaGeShoメンバー5人が参加し、伝統食である笹巻の原料となる笹の葉とりを体験 ★予定している自主企画事業 ①六十里越街道トレッキング(六十里越街道魅力発信事業) ②おかえりイルミネーションの設置 ③雪上テントサウナ ④笹巻作り体験 ⑤とち餅作り体験	
 ①大鳥池登山  ②笹の葉とりボランティア	
取組みの成果・評価	
・令和5年度は自主企画を実行する年として、「大鳥池登山」と「キャンプdeテントサウナ」の2つの事業を実施した。自分たちが朝日地域でイベントを行うことで賑わいを生み出せることに手ごたえを感じている。 ・令和6年度は自主企画に加え、笹の葉とりや六十里越街道の魅力発信につながる地域貢献活動にも取り組んでいる。 ・会員数は減少しているが、SNS等を活用し、地域外の出身者も取り入れながら、直接活動に参加できなくても間接的に関わることができる仕組みを構築して若者同士のネットワークを形成している。 ・若者視点による朝日らしいイベントを企画しており、朝日の魅力発信に大きく貢献している。	

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	地域内交通調査研究事業
事業目的	学校、病院などの生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立った地域内交通対策を推進する。
事業概要	利用者の視点に立った地域内交通として、バス路線から離れた集落に対する交通手段の検討や、朝日地域での地域内交通に係る調査研究に対し支援を行う。 朝日地域市営バス利用拡大協議会が主体となり、地域住民にあった地域内交通のあり方について研究する。 【朝日地域市営バス利用拡大協議会に対する補助金】
令和6年度予算額	1,900,000円
事業実施年度	令和5年度～
これまでの主な事業実績	★公共交通を中心に、現状でどんなことに困っているかを明らかにする。(令和5年度) ①公共交通に関するアンケート調査(全戸対象) ・回答数:全38集落、909世帯、回答率83.3% ②移動の現状の聞き取り調査 ・高齢者から聞き取り(各集落のサロン、湯遊会、いきいき大学) ・自治会長や民生児童委員に調査票を配布し交通弱者を洗い出し ③利用者等への聞き取り ・市営バス利用者からの聞き取り ・自治会長や民生委員から情報により、困っている本人から聞き取り ★朝日地域地域交通研究会・研修会の開催(令和5年度) ①研究会の開催(5回) ②研修会の開催(2回)

令和6年度の事業内容

- ★公共交通の専門家からの支援
朝日地域が抱える公共交通の課題解決のため、現地調査の手法や交通再編案の作成に助言や指導をいただく。
- ★朝日地域地域交通研究会の開催
令和5年度に実施したアンケートや聞き取り調査の結果、地域交通研究会での意見を整理するとともに、令和7年7月から庄内交通路線バス上田沢線・大網線廃止に向けた見直しの打診を受け、朝日地域にあった交通再編策を検討する。
- ★高校生等を対象に公共交通に関するアンケートの実施
令和6年9月に全戸配布した「暮らしの足だより第2号」にQRコードを載せ、通学状況やデマンド交通に対する考え方などのアンケートを行った。
- ★朝日地域公共交通運営協議会(仮称)の立ち上げ
効率的な運行のため、予約方式であるデマンド運行の実証に向け検討していく。

取組みの成果・評価

令和5年度に実施したアンケート調査及び聞き取り調査では、「バス停までが遠く、利用しにくい」といった、現状の公共交通における課題が明確になり、朝日地域に適した交通のあり方を地域全体で考えることができた。

今後、地域住民の意見を取り入れながら、地域内の公共交通網を再編していく。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	大鳥地区移動支援モデル事業【新規】
事業目的	学校、病院などの生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立った地域内交通対策を推進する。
事業概要	・大鳥地区内で地域ボランティアによる「互助運送」の実証試験運行に対する支援。 ・地域住民がボランティアの運転手となり、利用者を目的地まで輸送する。 【大鳥地区村づくり推進協議会に対する補助金】
令和6年度予算額	310,000円
事業実施年度	令和6年度～

令和6年度の事業内容
・大鳥地区村づくり推進協議会から委託された大鳥振興企業組合が実証運行を開始した。 実証期間：令和6年8月1日～令和7年3月31日 運行時間：平日8時～16時（お盆期間、年末年始を除く） ・8月の利用件数は2件

取組みの成果・評価
路線バス廃止区間において、地域住民主体による移動手段の確保は、将来の移動に対する不安の軽減や、定住に向けた環境整備にも繋がる。 モデルとなる実証運行を通して継続実施に向けた課題を整理し、大鳥地区以外への導入についても検討を進める。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	朝日地域共創プロジェクト支援事業
事業目的	中山間地域の課題解決に向け、デジタル技術を活用した市民サービスの提供、地域づくり活動での活用支援、地域デジタル人材の育成を推進する。
事業概要	朝日中央地区自治振興会が取り組む、デジタル技術を活用した以下の事業展開に対応する支援。 ・地域住民によるデジタル人材の育成 ・地域住民を対象にしたスマホ講習会の開催 【朝日中央地区自治振興会に対する補助金】
令和6年度予算額	300,000円
事業実施年度	令和5 年度 ～
これまでの主な事業実績	○地域住民によるデジタル人材の育成 デジタル人材育成研修6回開催、受講者数36名 ○地域住民を対象にしたスマホ教室の開催 集落・団体等を対象にした出張スマホ教室4団体、参加者40名、講師協力者延べ20名   ▲デジタル人材育成研修の様子 ▲出張スマホ教室の様子

令和6年度の事業内容

- ①デジタル人材育成及び支援体制の構築
地域住民を対象にしたデジタル人材育成講習の開催
- ②地域住民を対象としたスマホ講習会の開催
デジタル技術の活用に苦手意識を持つ地域住民を対象に、地域内で育成するデジタル人材によるスマホ講習会を実施



▲デジタル人材育成研修の様子

取組みの成果・評価

- ・デジタル機器やデジタル技術を活用したサービスなど気軽に地域で学び合える環境づくりを進めることができた。
- ・スマホ講習会の開催により高齢者を中心にデジタル活用を身近に感じてもらう機会の創出と、地域の若者との世代を超えた交流が図られた。
- ・地域課題の解決に取り組む「朝日地域共創プロジェクト」への積極的な参加を促し、地域の多様な人材が活躍できる環境づくりにもつなげていく。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業			
事業目的	雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進する。			
事業概要	広域コミュニティ組織が行う自力除雪が困難な高齢者世帯等の玄関前除雪に対する支援 【広域コミュニティ組織に対する補助金】			
令和6年度予算額	330,000円			
事業実施年度	令和元年度～			
これまでの主な事業実績	【支援実績】			
		南部地区	東部地区	計
	令和元年度	2グループ・5世帯	2グループ・6世帯	4グループ・11世帯
	令和2年度	3グループ・10世帯	2グループ・3世帯	5グループ・13世帯
	令和3年度	4グループ・11世帯	2グループ・3世帯	6グループ・14世帯
	令和4年度	3グループ・8世帯	2グループ・3世帯	5グループ・11世帯
	令和5年度	3グループ・8世帯	2グループ・3世帯	5グループ・11世帯
	合計	15グループ・42世帯	10グループ・18世帯	25グループ・60世帯

令和6年度の事業内容									
広域コミュニティ組織による除雪機を所有する支援者と自力での除雪が困難な高齢者世帯等をグループ化して行う玄関前除雪に係る経費を助成する。(朝日南部・東部地区を予定)									
<table> <tr> <th>補助対象経費</th><th>補助金の額</th></tr> <tr> <td>1 事業期間中の除雪機械に係る自賠責保険料及び任意保険料</td><td>全額(上限4月)</td></tr> <tr> <td>2 除雪機械の修繕料</td><td>全額(上限2万円)</td></tr> <tr> <td>3 燃料費(要支援者の除雪に係る部分に限る。)</td><td>全額(上限2万円)</td></tr> </table>	補助対象経費	補助金の額	1 事業期間中の除雪機械に係る自賠責保険料及び任意保険料	全額(上限4月)	2 除雪機械の修繕料	全額(上限2万円)	3 燃料費(要支援者の除雪に係る部分に限る。)	全額(上限2万円)	
補助対象経費	補助金の額								
1 事業期間中の除雪機械に係る自賠責保険料及び任意保険料	全額(上限4月)								
2 除雪機械の修繕料	全額(上限2万円)								
3 燃料費(要支援者の除雪に係る部分に限る。)	全額(上限2万円)								

取組みの成果・評価
①広域コミュニティ組織を実施主体とした、地域内互助による高齢者世帯等の支援が継続して行われている。 ②グループ数・世帯数が固定化しつつあり、より多くの支援ができるような工夫が必要である。 ③優良事例や地域ニーズ等を参考にしながら、今後の事業展開について検討していく。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	安全・安心な除排雪支援事業【新規】
事業目的	雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進する。
事業概要	・雪害の軽減につながる安全対策の取組を進めるとともに、地域の除排雪体制の仕組みづくりを研究するため、地域住民や自治会等を対象とした学びの機会を設ける。 ・地域住民や自治会等を対象にした雪下ろし講習会や、地域での除排雪体制の仕組みづくりの研修会を実施する。
令和6年度予算額	150,000円
事業実施年度	令和6 年度 ～

令和6年度の事業内容

- ①雪下ろしや雪処理など、雪に関する課題や要望等の聞き取り調査
- ②安全な雪下ろし・雪処理作業のための講習会開催
⇒屋根雪下ろし作業安全対策の座学、関連器具装備品等の紹介、実技講習
- ③安心して暮らせる除排雪体制の仕組みづくりに向けた研修会開催
⇒他自治体の地域内除排雪の体制づくりや、除雪ボランティア受入れ等による仕組みづくりの事例紹介

取組みの成果・評価

・除排雪作業における事故の軽減につなげるため、雪下ろし用安全器具の普及や講習会や研修会への参加を促すとともに、これまで実施してきた「朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業」の成果も盛り込みながら、地域の「共助」による除雪体制づくりに向けた取組を進める。

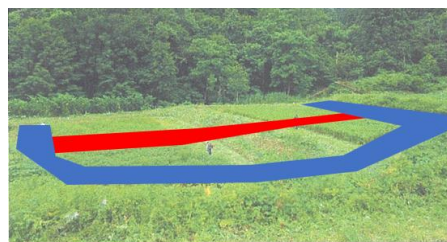
令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	大鳥自然の家環境教育推進事業
事業目的	豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子どもたちをはじめとした市民への自然環境教育の実践を推進する。
事業概要	大鳥地区の地域資源を活かした環境教育プログラムの開発 【委託料】
令和6年度予算額	380,000円
事業実施年度	令和元 年度 ～
これまでの主な事業実績	【令和元年度】 里山暮らしでは欠かすことのできない炭づくり工程の一部を体験プログラムとして提供するため、大鳥地内にあった炭窯を移設復元。  【令和3年度】 水生生物飼育池やワラビ園等の環境整備を実施。  【令和4年度】 きのこの菌植え体験から収穫体験ができるよう環境整備を実施。  【令和5年度】 ナイトハイクプログラムの充実のため、ホタルの生息環境を整備。 

令和6年度の事業内容

○地域資源を活かした環境教育プログラムの充実を図る。

- ・令和5年度にホタルの生息環境を整備したが、令和6年度は渇水期の水源を確保・整備する。



■R5 に整備したカワニナ繁殖路

■R6 整備予定のカワニナ繁殖路

取組みの成果・評価

- ①ホタルの生息域となっている休耕田の水源確保のための水路等が整備されたことで、ナイトハイクプログラムの充実が図られた。
- ②環境教育プログラムの整備を目的とした単年度毎の事業となっているが、長期的かつ計画的なプログラム開発・整備を行っていく必要がある。
- ③大鳥地区をフィールドにした魅力的なプログラムを提供し、広く市民への環境教育の推進を図っていく。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	かたくり温泉運営支援事業 【新規】
事業目的	温泉利活用による地域住民の健康増進とコミュニティ活動の充実を図り、健康寿命延伸と暮らしやすい地域づくりを推進する。
事業概要	かたくり温泉の安定継続した運営に向けた支援 【運営事業者への補助金交付】
令和6年度予算額	10,500,000円
事業実施年度	令和6年度～
これまでの主な事業実績	令和6年度新規事業 ※令和5年度かたくり温泉関連事業 令和5年8月～11月 かたくり温泉利活用トライアル事業を実施(実施事業者:NPO法人こみっとAFC) 令和6年1月 温泉運営事業者としてNPO法人こみっとAFCを公募により選定

令和6年度の事業内容

- ・運営事業者へ水道光熱費及び燃料費(10,000千円)、販売促進費及び経常修繕費(500千円)を補助金として交付する。
- ・温泉を活用したフレイル予防事業や各地域で活動している介護予防目的のサロンと連携し、地域住民の利用拡大につなげる。



ぶなの湯



サウナ



キッズコーナー

取組みの成果・評価

- ・かたくり温泉を会場に認知症カフェ「茶っかりカフェ」を月1回開催(実施主体:地域包括支援センターあさひ)。認知症当事者や家族が地域社会から孤立することを防ぎ、心理的負担軽減が図られているとともに、多くの市民が集うかたくり温泉で開催することにより、地域住民が認知症等について理解を深める効果的な機会となり、「認知症になっても安心して暮らし続けることができる」支え合いの地域づくりの推進につながっている。
- ・地域の観光団体とタイアップした入浴券付きのトレッキングイベントや登山イベントの開催、入浴料金割引等を実施するほか、登山専門誌やSNSを活用した積極的な情報発信により地域外利用者獲得に成果が見られる。

【課題】

- ・安定継続した事業運営のためには地域住民の利用拡大、リピーターの確保が重要であることから、地域内団体と連携し利用者数増加につながる取組みを進める。
- ・隣接する「健康の里ふくら」を活用して実施する自主事業及びフレイル予防事業の実績検証を踏まえ、相乗効果が期待される一体的活用に向け使用条件の整理・検討を進める。

【事業の方向性】

地域住民をはじめ多くの市民が集う交流や憩いの場、地域コミュニティや健康増進・介護予防事業の場として、隣接する「健康の里ふくら」との一体的活用を進めるとともに、朝日地域の拠点施設として温泉施設の安定的な利活用につながる取組へ支援を行う。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	朝日地域フレイル予防事業 【新規】
事業目的	従来実施している介護予防事業に加え、50歳代からを対象として新たにフレイル予防事業を実施し、健康寿命の延伸とフレイル予防推進を図る
事業概要	高齢者を対象とした介護予防事業及び高齢期前の年代を対象としたフレイル予防事業を実施する事業者への支援【実施事業者への補助金】
令和6年度予算額	2,000,000円
事業実施年度	令和6年度～

令和6年度の事業内容																			
令和6年度 朝日地域フレイル予防事業計画																			
対象年齢	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考				
65歳以上	① いきいきぼんぼ		1	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	32回	金曜日9:30～15:00 温泉入浴、昼食、送迎あり				
概ね 50歳以上	② からだスッキリ教室 講師 佐藤しおりさん				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9回	水曜日10:00～11:30 【ぼんぼ健康教室：昼コース】				
	③ からだメンテナンス教室 講師 澤田美佳さん			1	2	2	2	1	2					10回	木曜日19:15～20:15 【ぼんぼ健康教室：夜コース】				
	④ ヨガ教室 講師 村井千穂さん				1	3			4	2				10回	あさひスポーツクラブ主管 火/水曜日19:15～20:15				
	⑤ いきいきスポレク 講師 あさひスポーツクラブ				3		1	1	1	1	1		1	9回	あさひスポーツクラブ主管 ワナゲ、グランドゴルフ、モルック、 ポッチャ、バドミントン				
	⑥ ノルディックウォーキング 講師 あさひスポーツクラブ						1							1回	あさひスポーツクラブ主管				
	⑦ ピラティス教室 講師 あさひスポーツクラブ							3						3回	あさひスポーツクラブ主管				
	⑧ ドライフラワーアレンジメント教室 講師 渡部小枝さん									1				1回	あさひスポーツクラブ主管				
		0	1	4	10	9	9	9	11	8	5	4	5	75回					



いきいきぼんぼ



からだスッキリ教室



からだメンテナンス教室

取組みの成果・評価
・高齢者を対象とした定期的な介護予防事業(いきいきぼんぼ)の実施により、心身機能の改善及び生活機能の維持向上が期待され、また身近な場所で人や地域とつながり社会参加を促すことで、住み慣れた地域で健やかに暮らし続けることができる。 ・高齢期を迎える前の年代からフレイル予防に取り組む人を増やすことにより、地域住民の要介護認定率の上昇を抑えることにつながるとともに、健康寿命延伸が期待できる。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	かたくり温泉ぼんぼ施設修繕 【新規】
事業目的	温泉利活用による地域住民の健康増進とコミュニティ活動の充実を図り、健康寿命延伸と暮らしやすい地域づくりを目指すため、老朽化した温泉施設設備を修繕する。
事業概要	築30年を経過し老朽化している温泉設備等について、温泉営業可能な状態を維持する必要最低限の修繕を実施する。
令和6年度予算額	2,619,980円
事業実施年度	令和6年度～
これまでの主な事業実績	令和5年度の12月補正(約2,400万円)により温泉運営に不可欠な施設修繕等(ろ過機・源泉ポンプ・サウナヒーター・除鉄機等他)について修繕、交換、点検を実施。 

令和6年度の事業内容

5月	地下配管漏水修繕	619,300円
6月	機械室他配管修繕	1,756,700円
	水風呂修繕	137,280円
	給湯用温度調節器修繕	106,700円



取組みの成果・評価

5月に続き6月も緊急修繕実施のため臨時休業となり利用者にご迷惑をおかけしたが、修繕実施により温泉営業を再開できた。

課題として老朽化による随時修繕が発生した場合、温泉運営になるべく支障が無いよう時期や優先順位の対応が必要。

緊急的な修繕とは別に、源泉ポンプ・ろ材等の温泉設備について、年次計画に沿って定期交換修繕が必要。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	朝日地域若者農業者支援事業
事業目的	朝日地域で農業に従事している若者農業者等の集いの場となる環境を作り、若い世代が主体となり、より身近に、また生き生きと感じられる農業を目指す。
事業概要	・ 農業の課題や関心事について若者農業者の交流の場をつくり、地域農業の担い手として、意識の共有を図る。 ・ 研修や先進地視察等により、若者自らが主体的に農業ができるよう活動を支援する。 ・ 消費地視察等により、地域の特産物、農産物について魅力を再発掘するとともに、販路拡大についての意識向上を図る。
令和6年度予算額	350,000円
事業実施年度	令和4 年度 ～
これまでの主な事業実績	【令和4年度】 ・グループワーク 6回 (特産品・農産物紹介:11品、ふるさと納税紹介:3商品 ほ場(施設)見学:2箇所) ・消費地視察研修(東京都:マルシェやマーケット 10箇所) 【令和5年度】 ・グループワーク 3回 資料のみ送付 1回 (特産品・農産物紹介:3品、ふるさと納税紹介:4商品、ほ場見学:3農業者5箇所、座学研修:1) ・消費地視察、消費者訪問研修(東京都:マルシェやマーケット6箇所、消費者訪問:2箇所)

令和6年度の事業内容	
・ 交流の場の設定と意識共有による連帯感の構築(グループワーク等による意見交換、ほ場巡回) ・ 若者が主体となる農業活動にむけた支援(勉強会の実施) ・ 地域特産物、農産物の魅力の再発掘と販売意識の向上(視察、特産品紹介、ふるさと納税出品検討)	
時期(月日)	実施内容
5月	メンバーの募集(5月29日:市HP掲載5月31日定期配送:チラシ隣組回覧) ※メンバーは随時募集 9月1日現在:15名
6月25日	第11回グループワーク開催(令和6年度の活動について 他)
9月～令和7年3月	グループワークまたはほ場見学 月1回程度開催
10月下旬または11月上旬	県外視察研修

取組みの成果・評価
① 同じ朝日地域の数少ない若手農業者であっても交流がなかったり、また、農業者でなくても、加工等も含め農業に興味がある者などが、互いを知る機会となった。視察先と交流をもったり、県外マルシェへ参加、出展するメンバーがでてきた。 ②若手農業者や農業に関心のある者の集まりではあるが、それぞれ向かう方向が異なるため、事業の進め方を検討する必要がある。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	朝日地域山の恵み産地化事業 ①山の恵み産地化事業 ②あさひの特産応援事業
事業目的	中山間地域である朝日地域の農林業、特産林産物の持続的な振興及び地域の活性化を図る。
事業概要	①山の恵み産地化事業 山間部からの農産物の集荷、産直を核とした販売、市街地への移動販売などにより生産者の意欲、所得の向上、市内の買物弱者の負担軽減、販路拡大につながる取組に支援する。 ②あさひの特産応援事業 地域の農産物や森林資源を活かした特産品の創出、付加価値向上などの取組に支援する。
令和6年度予算額	1,600,000円(内訳①1,200,000円 ②400,000円)
事業実施年度	令和元 年度 ～
これまでの主な事業実績	①中山間地域の生産者への集荷と販売 市街地での移動販売等 栽培技術研修(原木きのご講座・山菜栽培講座等) ②令和3年度 事業2件に対し、600,000円を交付 令和4年度 事業1件に対し、184,000円を交付 令和5年度 1件申請があったが、取り下げたため交付額なし

令和6年度の事業内容

- ①山の恵み産地化事業…産直あさひ・グーの取組に補助
- ・出荷手段のない中山間地域の生産者への集荷と販売
市街地での移動販売等の取組
 - ・栽培技術の研修会の開催
 - ・地域で採れる特産の体験イベント開催
【7/30: 笹の葉採りから始める笹巻作り体験開催9名参加】



- ②あさひの特産応援事業
- ・補助する事業を4月に市HP等で第1次公募、6月に第2次公募を行った。
9月現在、1件の事業が交付決定となった。

取組みの成果・評価

- ①山の恵み産地化事業
- 市街地への移動販売について、朝日地域から届けられる商品は良質な物が多いと毎回楽しみにしている固定客も多いため、買物弱者の負担軽減等には一定の成果があると考えられる。
- ②あさひの特産応援事業
- 5年度は新規事業の申込みが少なくなっており、補助金の周知や需要の掘り起こし等が課題となっていたため、農業関係者の集まりの際や、来庁者に対して積極的にチラシを配布するなど、更なる周知を図る必要がある。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	朝日地域観光あいのりタクシー運行事業
事業目的	観光需要が集中する夏季に観光客の二次交通を確保し誘客増加を図る。
事業概要	あさひむら観光協会が実施する、夏季における観光客の二次交通を確保するための試験運行へ支援を行う。【観光協会への補助金】
令和6年度予算額	910,000円
事業実施年度	令和5 年度 ～
これまでの主な事業実績	令和5年度 ・実施計画 - 運行期間:7月28日～10月15日(38日間) - 便数:120便 (金・土曜:1日2往復、日・祭日:1往復) ・実績:18日間・21便運行、44名利用 (予約システム利用者は99名)



あいのりタクシー乗車前の様子

令和6年度の事業内容

タクシーの相乗り制度を活用した「朝日地域観光あいのりタクシー運行事業」の実施する。

- ・7月12日(金)から10月14日(月)までの4か月、47日間
- ・運行日は金・土・日・祝祭日
- ・発着地について、金・土は朝日庁舎、日・祝祭日はエスモールから泡滝ダムまで運行する。
- ・利用料について、令和5年度は「メーター制」で実施し、令和6年度は「時間制(貸し切り)」での実施をすることによって、本格運行に向けたノウハウの蓄積を図る。

【令和6年度実績(8月末現在)】

行き(エスモール・朝日庁舎→泡滝ダム):運行 4回、乗車人数 7名 (予約数30名)
 帰り(泡滝ダム→朝日庁舎・エスモール):運行 1回、乗車人数 1名 (予約数3名)

取組みの成果・評価

朝日地域への観光誘客と登山者の二次交通確保の要望に応えることができ、地域の活性化につなげることができた。鶴岡市内の旅客サービス運行事業者と連携し誘客促進することで、地域経済や観光振興など多面的に地域活性化が図られた。アンケートの回答でも、アクセスが難しい登山タクシーの継続を求める声があった。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	六十里越街道魅力発信事業
事業目的	次世代を担う地域の若者や子どもたちが六十里越街道についての理解を深め、親しむための取組へ支援し、誘客を促進する。
事業概要	地域の若者や子どもたちを対象に六十里越街道に触れ合うイベントや、SNSの活用など目にする機会を増やす取組について支援を行う。【観光協会への補助金】
令和6年度予算額	220,000円
事業実施年度	令和4年度～
これまでの主な事業実績	令和4年度 ・街道ガイド(山船頭人)育成に向けたマニュアル作成 令和5年度 ・チームWaGeShoと協力し、若者向けの六十里越街道トレッキングを実施。(6月25日、12名参加) ・チームWaGeShoのメンバーがトレッキングの様子を撮影・編集し、チームWaGeShoのSNSやあさひむら観光協会のYouTube等で情報発信の試行を行った。 WaGeShoトレッキングの様子 (令和5年度) 

令和6年度の事業内容

- ・講習会と古道歩きを分けて開催予定、六十里越街道についての理解を深める機会の提供、SNSで魅力を情報発信
 ≪実施予定≫ 地域の若者を対象としたSNS講習会 10月上旬
 古道歩きイベントの開催 10月19日(土)
- ・小中学生の六十里越街道に係る授業(事前学習、トレッキング当日の案内)へのアルゴディア研究会等の協力について調整、小中学校へのPR

取組みの成果・評価

- ・次世代を担う地域の若者を中心に、六十里越街道についての理解を深めることができた。
- ・保全活動への担い手となり得る人材育成や、地域への関わりを持ち続ける動機付けにつながった。

令和6年度 朝日地域まちづくり未来事業

事業名	桧原二ノ俣峠越山道復元事業	
事業目的	・登山道の整備を実施し、登山者受け入れのための環境整備を行う。 ・整備を進め、将来的には古道復活による登山者の増加や、イベントの開催等による地域活性化を図る。	
事業概要	桧原二ノ俣峠越山道復元協議会が実施する、刈払い等の山道整備にかかる経費に対し補助金を交付する。	
令和6年度予算額	100,000円	
事業実施年度	令和4年度～	
これまでの主な事業実績	令和4年度 ・山道刈払い 回数:1回(作業員5名) 令和5年度 ・山道刈払い 回数:1回(作業員5名) ・会議の開催(整備状況報告等)	山道刈払い状況 

令和6年度の事業内容	
・9月から10月の間に実施予定 山道刈払い 回数:1回(作業員5名) ・10月下旬から11月中旬の間に実施予定 プレトレッキングイベント 回数:1回 ・随時 山道活用についての会議・打合せ	 県境から大鳥方面の眺望

取組みの成果・評価
①荒廃していた山道を復活することによる来訪者の増加により、地域内の経済効果が期待できる。 ②令和2年、令和4年豪雨により、登山入口までの林道が一部崩落し、車で行くことができないことから、登山道入口に行くまで時間がかかる。本件については、国有林野を管理する庄内森林管理署に本事業についての情報を提供するとともに、早期復旧の要望を行っていく。 ③ ②の課題があるため、迂回路の検討を検討しながら、トレッキングイベントを開催できるように案内板等の整備を行っていく。将来的には村上市山熊田地域との連携を行い、大鳥～山熊田間のトレッキングルートの開通を目指す。

庄内交通バス路線見直しに伴う公共交通再編について

資料7

1. 背景

平成29年度の交通再編時は庄内交通バス路線短縮に合わせて、市営バスを運行することで対応してきた。令和5年10月には庄内交通路線大鳥線が廃止され、大鳥地区では令和6年8月から大鳥地区村づくり推進協議会が主体となり、互助輸送を開始するなど独自の取り組みが始まっている。

また、朝日全域においては、路線バス及び市営バスは通っているが、高齢化が進む中ではバス停まで行くこと自体が困難などといった課題がある。

加えて、庄内交通株式会社からは令和7年7月から上田沢線・大網線廃止に向けた見直しの打診を受けており、今後の朝日地域の交通再編案を探るため、朝日地域市営バス利用拡大協議会が主体となり調査・検討を行っている。

2. これまでの経過と今後の取組

【令和5年度】

- 地域交通研究会(計5回)・研修会(計2回)
- 移動に関するアンケート・聞き取り調査の実施(回答数:909/1,155 世帯)
 - ・326 人が普段の移動について「困っている」「不安を感じる」と回答
 - ・265 人が「近くに病院・専門の医者が無い」、「近くで食料や日用品が買えない」と回答

【令和6年度】(9月24日時点)

- 高校生等を対象に公共交通に関するアンケートを実施(9月1日～30日)
- 第1回地域交通研究会(9月18日)
- 交通再編案に関する地域住民との意見交換会(10月予定)
- 第2回地域交通研究会(10月予定)
 - ・自治会長や各団体代表者に対して、住民の意見を踏まえた交通再編案の提案
- 朝日地域公共交通運営協議会(仮称)の設立(12月予定)
 - ・市営バスのほか、デマンド交通など幅広い交通手段の検討を行うため、朝日地域市営バス利用拡大協議会を発展させた団体を立ち上げる。

3. 課題と取組の方向性

①高校生等の通学のための移動手段について

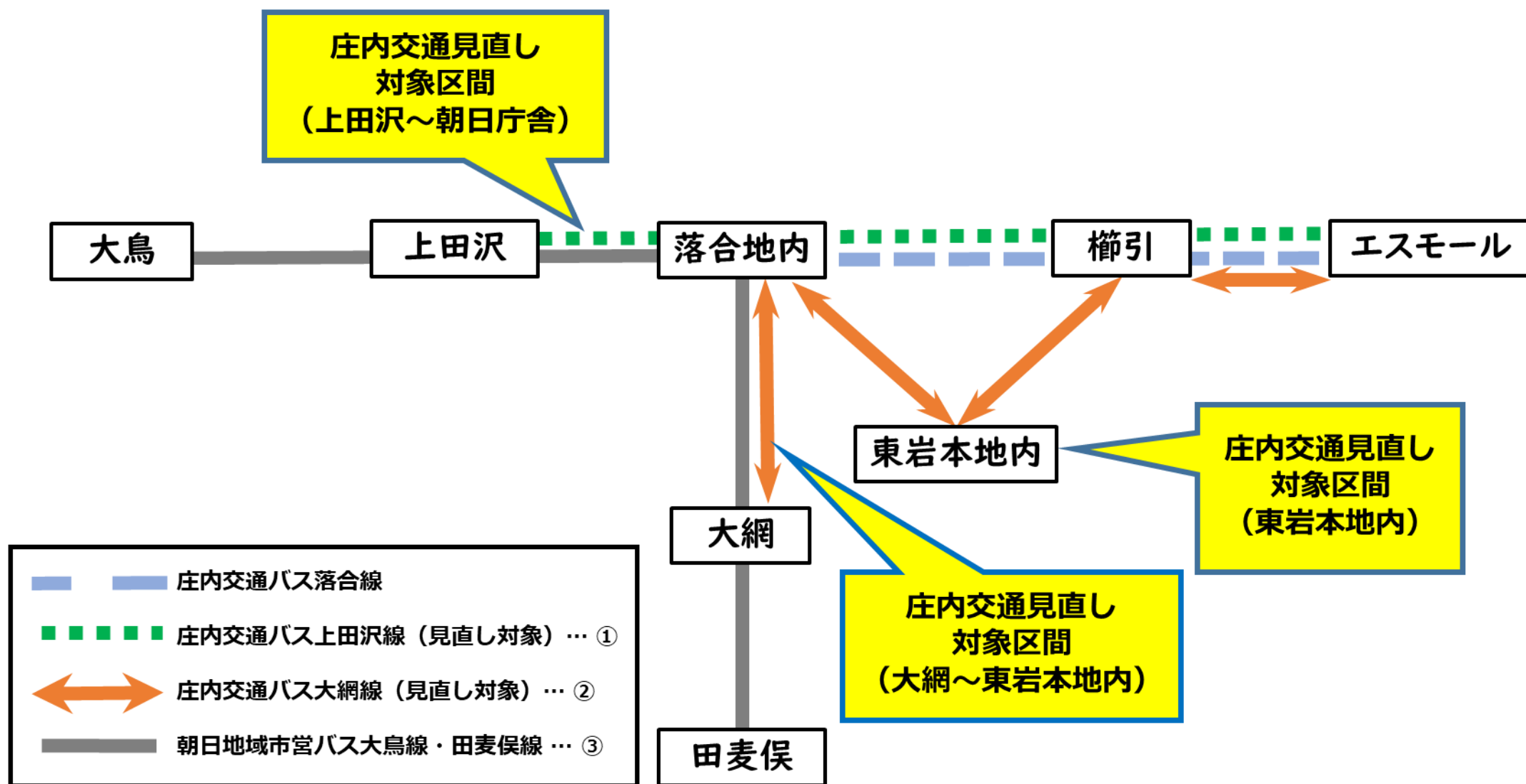
⇒朝日庁舎での乗り継ぎにより落合線に接続可能な上田沢線・大網線に代わる朝と夕方の定時定路線を確保する。

新庁舎建て替えに伴い、バス待合所として使用できる多目的スペースを整備する。

②高齢者から要望があった「バス停まで遠い」「集落まで乗り入れしてほしい」とのニーズについて

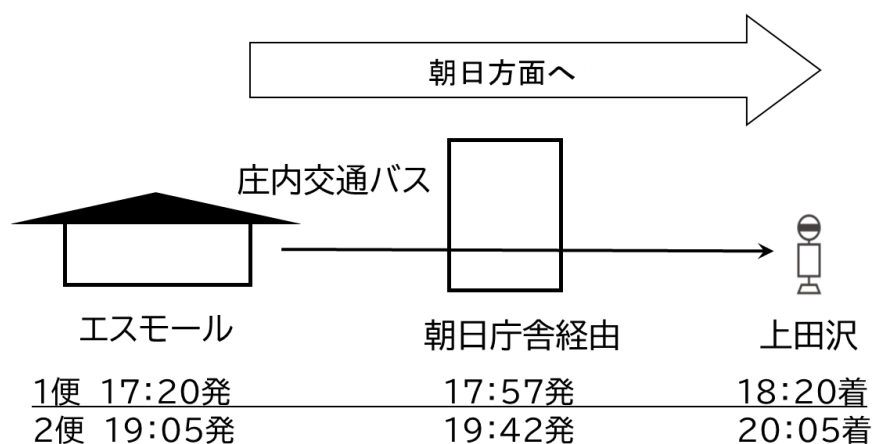
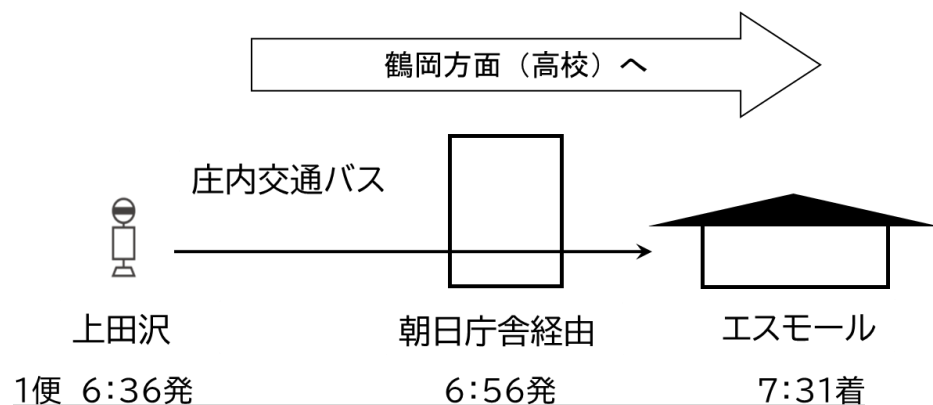
⇒自宅からの乗車が可能になるデマンド運行を導入する。

庄内交通路線バス・朝日地域市営バス路線図

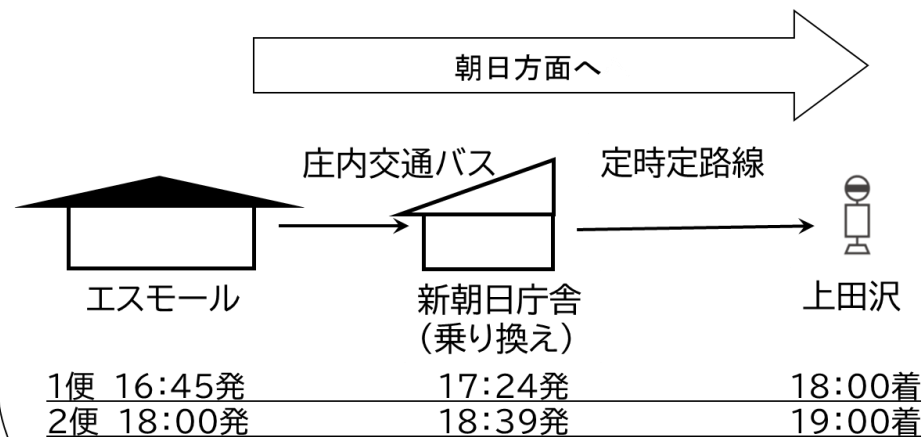
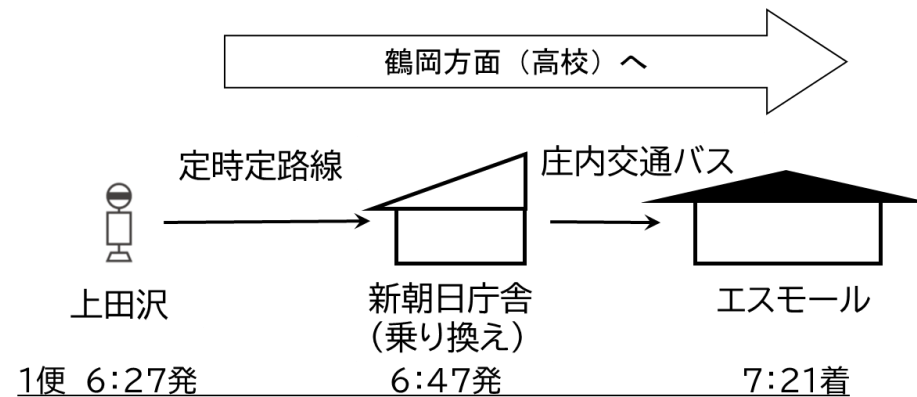


①庄内交通バス上田沢線 ※主に高校生等が通学・下校に利用

これまで



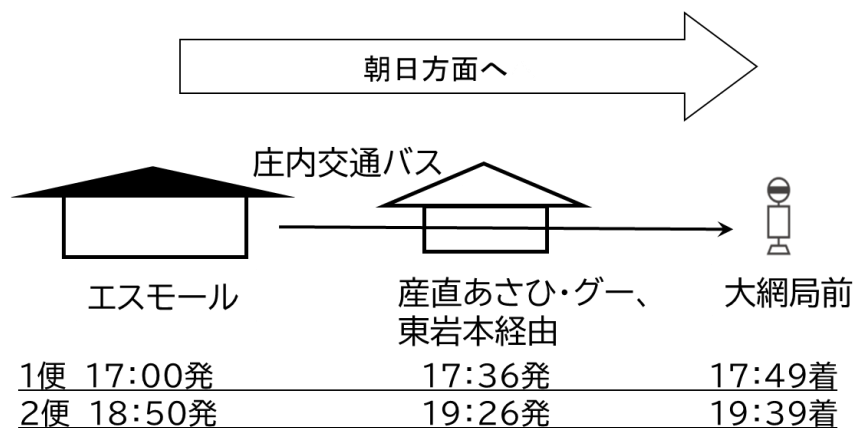
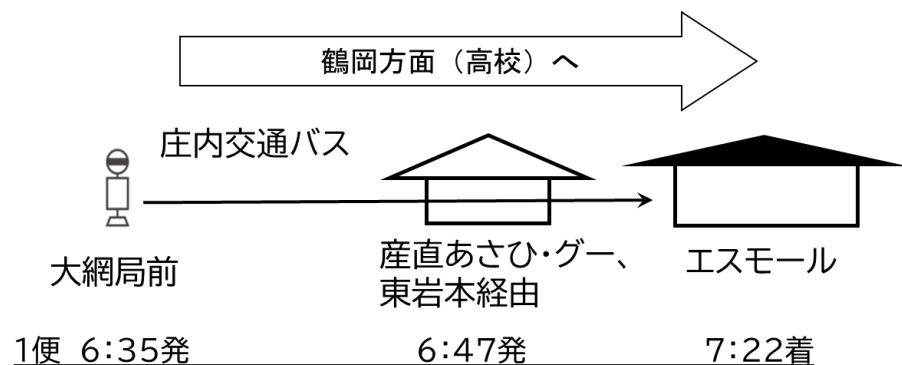
令和7年7月から(案)



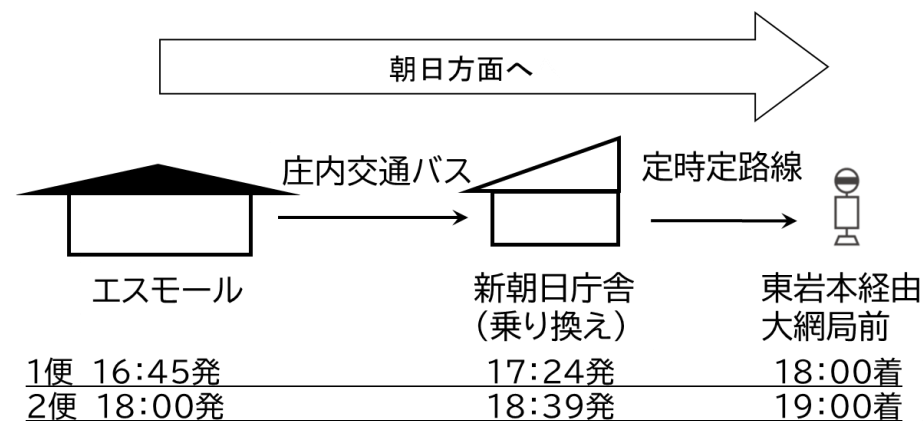
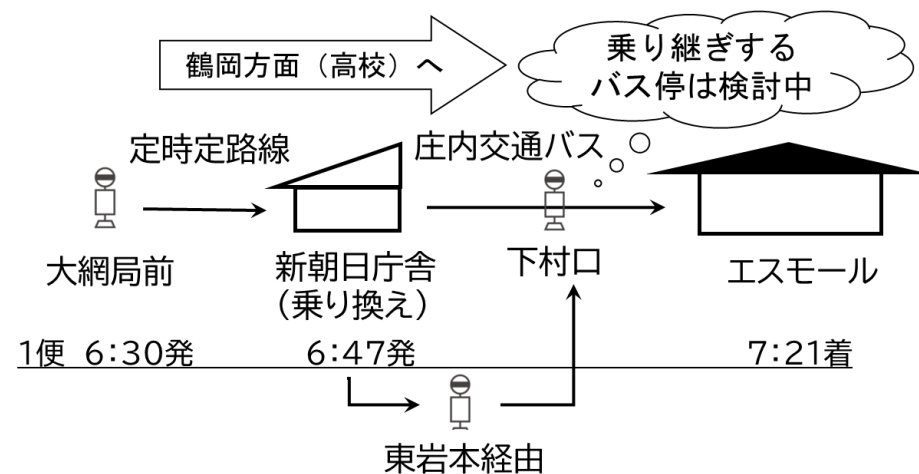
※記載している時間は、変更になる場合があります。

②庄内交通バス大網線 ※主に高校生等が通学・下校に利用

これまで



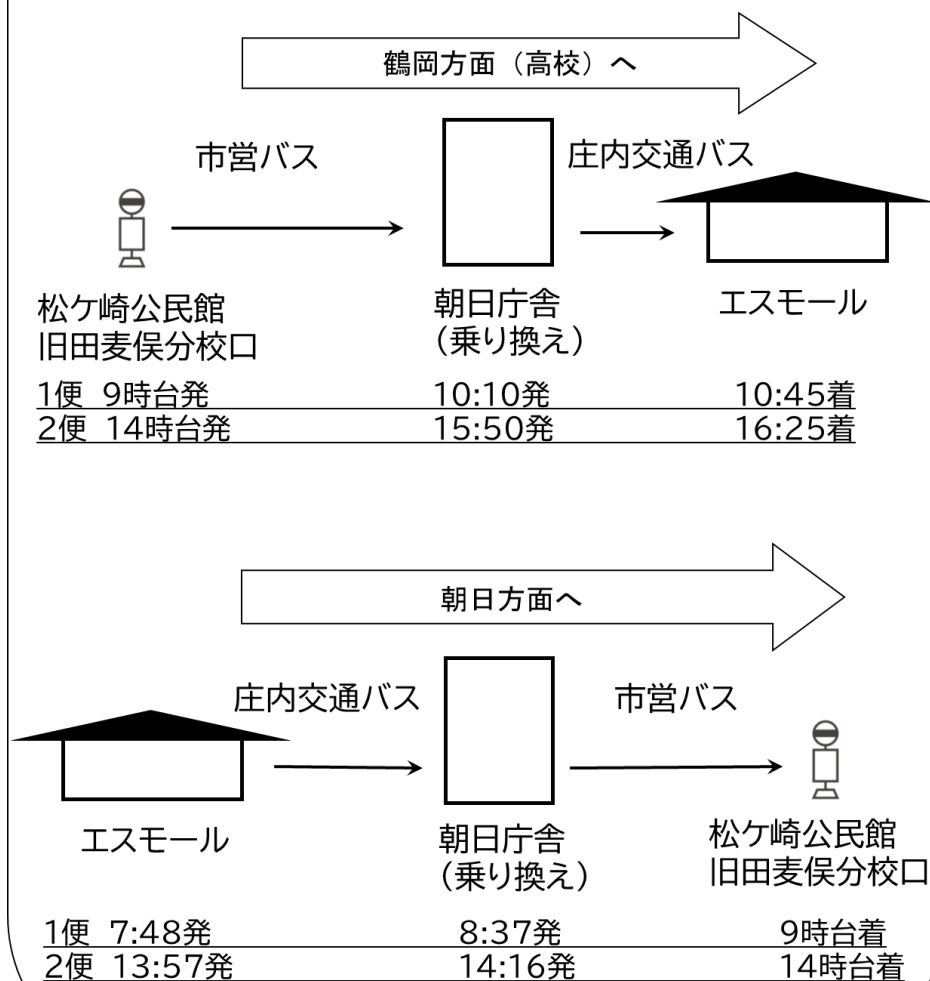
令和7年7月から(案)



※記載している時間は、変更になる場合があります。

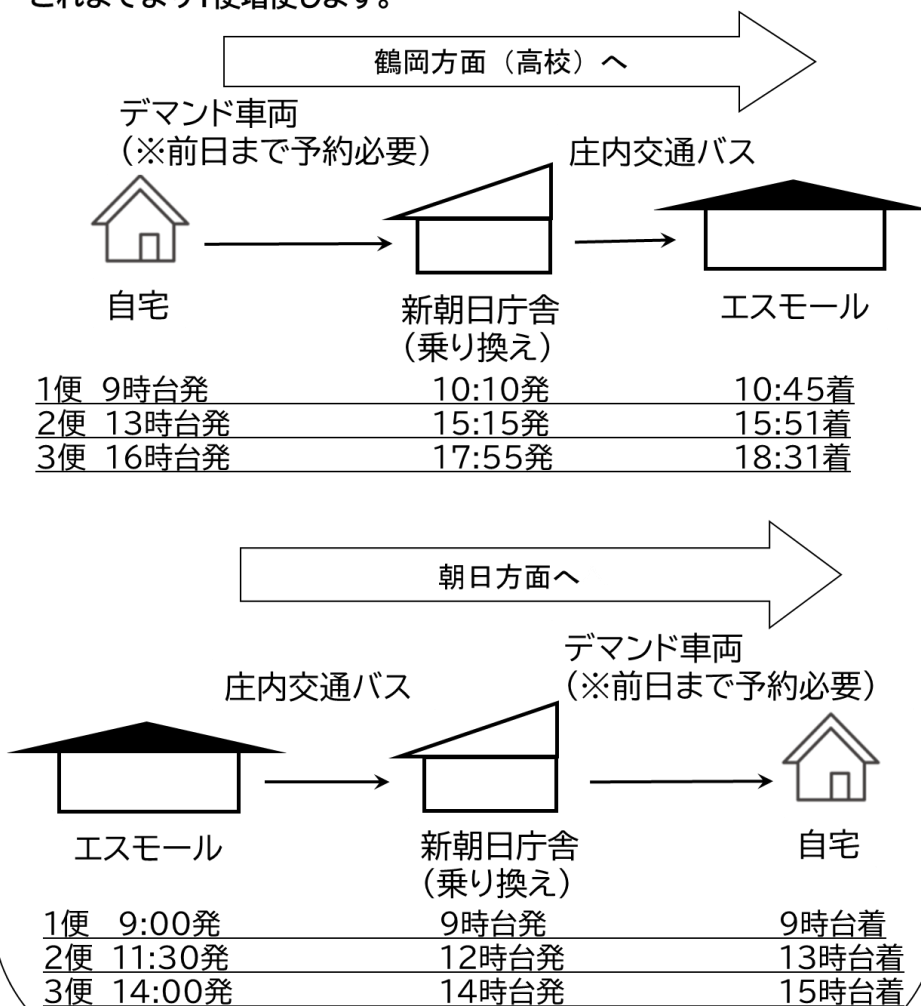
③市営バス大鳥線・田麦俣線 ※主に鶴岡方面に買い物や通院に利用

これまで



令和7年7月から(案)

- ・自宅で乗り降りができます。
- ・ぼんぼ・Aコープあさひ店等にはデマンド運行だけで行くことができます。
- ・これまでより1便増便します。



※記載している時間は、変更になる場合があります。